

総合防災訓練の実施について

平成17年8月29日

- JR東日本では、総合防災訓練を9月1日の「防災の日」に実施します。
- 今回の防災訓練は震度6強の大地震が発生したとの想定で、救助救命活動に関する訓練を本社、支社、現業機関が連携し実施します。
- 訓練は以下の内容を中心に、参加者約15,000名の規模で実施します。
 - ・ 本社及び各支社等における対策本部運営訓練
 - ・ 各地区における実働訓練（救助救命訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練等）
 - ・ 社員及びその家族の安否確認訓練
- また、政府や自治体等と連携して行なう訓練にも参加します。

訓練は以下の要領で行います。

1 日時

平成17年9月1日（木） 10時00分～12時30分（予定）

2 訓練の想定

東京圏については、本社対策本部の運営訓練を「10：00に東京直下を震源とする震度6強の地震が発生し、東京支社ビルは機能しているが、駅舎の崩壊、列車の脱線等の被害により、多数の死傷者が発生した。」との想定で訓練を行なう。

各駅においては、「7：00 震度6強の直下型地震が発生し、列車脱線、駅舎倒壊、火災等の被害が発生」との想定で地震発生直後の初動対応に重点を置いた訓練を行なう。

地方支社においては、各支社管内での大地震発生を想定した訓練を行なう。

3 主な訓練内容

本社対策本部の設置・運営訓練

本社対策本部運営訓練は以下の流れで実施する。

- ・ 発災直後は、まず高崎支社ビルと東京支社ビルが連絡をとりあい、東京支社ビルの被災されていない事を確認する。
- ・ 本社対策本部要員は本社対策本部が設置される東京支社ビル（田端）に非常参集する。
- ・ 運営訓練は、情報連絡拠点と本社対策本部で衛星回線を含めた災害時の専用回線を使用し、被災状況の情報伝達や救助派遣指示等を行う。またヘリコプターにより被災状況を調査し本社対策本部への連絡も行なう。

安否確認訓練

「災害伝言ダイヤル171」を活用する等により、連絡のとれない社員と職場との安否の確認や、社員と家族との安否確認訓練を行なう。安否確認訓練については、本年度は全社員を対象に実施する。

非常参集訓練

本社、支社、現業機関の社員が勤務箇所から最寄り駅など予め指定された箇所へ徒歩等で非常参集を行なう。

救助救命等の実働訓練

非常参集した社員を被災現場に派遣し、お客様の避難誘導、救助救命、初期消火等の実働訓練を行なう。訓練にあたっては、警察、消防等の関係部外機関や協力会社と連携し行なう。

自衛隊ヘリコプターを活用した医療チームの輸送訓練

自衛隊の協力のもと、ヘリコプターによる医療チーム（直営医療機関の医師と看護師）の輸送訓練を行なう。

4 主な訓練の実施箇所とスケジュール（別紙）

災害対策本部の運営訓練

- ・ 東京支社ビルに設置される本社対策本部は10時00分～12時30分頃で実施致します
- ・ 各駅によって訓練時間が違いますが、概ね10時～12時頃で実施致します。

取材に関するお問い合わせは別紙に掲載した各支社広報にお願いいたします。

平成17年度総合防災訓練の主な実施箇所

支社	実施場所	日時	参加数	訓練内容
東京	新宿駅 (他に管内各駅 及び出先機関)	9/1(木) 10:00～11:00	約150名	「通勤時間帯の午前7時に震度6クラスの直下型地震が発生した」との想定で、他鉄道事業者、駅ビル、駅構内店舗等との連携の下に、構内店舗火災対応、落下・倒壊物による受傷者の救出並びに応急救護、到着直前停止の電車からのお客さまの避難誘導、他鉄道機関との協力、列車運行情報の提供等の訓練を実施するほか、社員及び社員家族の安否確認訓練を行う。(大塚社長視察会場)
横浜	横浜支社管内 全般	9/1(木) 7:00～12:00	約560人	東京直下(震度6強)の地震発生を想定し、自律的な非常参集訓練(支社・地区)、情報伝達機器の設置訓練、対策本部・情報連絡拠点の設置運営訓練、安否確認訓練(伝言ダイヤル171、iモード災害伝言板)、被災箇所確認訓練、衛星回線を活用した情報伝達訓練及び広域避難場所の確認訓練を実施する。
八王子	八王子支社管内 全般	9/1(木) 10:00～15:30	約900人	八王子支社管内で震度6弱以上の地震が発生したとの想定で、社員・家族の安否確認訓練、支社対策本部設置訓練、駅及びその他の職場の初動対応訓練、各エリアの被害状況確認訓練、等を実施する。
大宮	大宮支社管内 全般	9/1(木) 10:00～12:00	約70人	埼玉県南部を震源地とした震度6強の地震が発生、各駅で通報、初期消火、旅客救出、避難誘導訓練を実施するほか、支社社員約70名で安否確認訓練(災害用伝言ダイヤル171)と徒歩と防災用自転車を使用して被災箇所5箇所を設定して被災箇所派遣訓練を実施する。
高崎	熊谷、高崎、前 橋各地区指導セ 高崎支社対策室	9/1(木) 10:00～12:00	約150人	東京直下の地震に続き、埼玉県深谷活断層付近を震源とする震度6弱の地震が発生したという想定で、高崎支社対策本部を立上げ、熊谷・高崎・前橋の各地区指導センターに設置した情報拠点等との、情報の収集、伝達訓練を行なう。また、支社社員の情報拠点への派遣も実施する。
水戸	水戸駅構内	9/1(木) 7:00～10:30	約50人	震度6強の地震が発生し、駅舎の一部が倒壊し、お客さまが負傷した想定で、水戸地区社員の派遣を含めた、お客さまの救助救命、非難誘導等の訓練を実施する。
千葉	千葉駅	9/1(木) 9:00～10:00	約200人	震度6強の地震が発生し、千葉駅において千葉駅ビル(ペリエ)社員や千葉駅構内営業社員と合同でお客さまの避難誘導、救助訓練、初期消火訓練等を実施する。
仙台	仙石線	9/2(金) 0:30～4:00	約100人	仙石線宮城野原駅地下部において、最少人員(駅員)にて地下ホームより地上までの避難誘導および、仙台～榴ヶ岡駅間にて抑止となった列車より、運転士・車掌のみにてお客様の降車、駅ホームまでの避難誘導を行う。また、仙台駅においては、エレベーター・エスカレーター、転倒した自動販売機等からの負傷者救出ならびに、帰宅困難者対応訓練を行う。
盛岡	盛岡駅	9/1(木) 7:00～12:00	約150人	三陸沖で震度6強の地震が発生し、駅舎の一部倒壊等の被害が発生したとの想定で、駅舎で負傷されたお客さまの安全な場所までの救助救命訓練及びエレベーターに閉じ込められた社員の救助訓練等を実施する。
秋田	秋田総合 車両センター	9/1(木) 7:00～12:00	約110人	秋田県中央部を震源とする震度6強の地震による列車脱線に伴い、消防機関と連携したお客さまの救助救命訓練、大型クレーン車を使用した脱線復旧訓練、支社対策本部・現地対策本部設置運営訓練及び情報伝達訓練を実施する。
新潟	新潟支社管内 4拠点地区	9/1(木) 7:00～12:00	約200人	新潟支社管内全域で震度6強の地震が発生したとの想定で、4拠点地区に現地対策本部を設置し、非常参集訓練と安否報告訓練を行うほか、現地において駅のお客さま避難誘導訓練、駅間に停車した列車からのお客さま救済訓練を実施する。また、支社災害対策本部との衛星携帯電話等を使用した情報伝達訓練を行う。
長野	篠ノ井駅・塩尻 駅・岡谷駅・白馬 駅・戸狩野沢温 泉駅・小海駅	9/1(木) 7:00～11:00	約200人	長野支社管内各地で震度6強の地震が発生したとの想定で、支社対策本部を設置し、支社対策本部と情報連絡拠点及び被災駅との情報伝達訓練を実施するとともに、救助・救護派遣に指定された社員が被災駅に出勤し、お客さまの避難誘導、救助・応急救護訓練、初期消火訓練等を実施する。